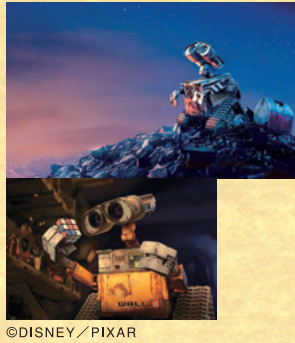


『ウォーリー』



©DISNEY/PIXAR

movie

『ファインディング・ニモ』などで知られる、ディズニー／ピクサー社の新作アニメ。ごみだらけの地球を見捨て、宇宙で暮らすようになった人間の代わりに、ひとり地球でごみ処理を続けるロボット「ウォーリー」の物語です。7000年もの間、孤独に作業をしていたウォーリーが、美しいロボット「イヴ」と出会い、恋をしたことで、宇宙への冒険に旅立ちます。それは人類の未来にも関わる出来事に発展して……。愛と感動の物語の中に、今ある地球の尊さにも思いを馳せる映画です。

全国公開中 <http://www.disney.co.jp/movies/wall-e>

『できることかぶはじめています』

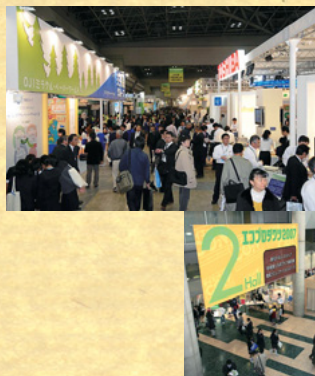


廣瀬裕子著／文藝春秋

book

著者は、環境チーム「Kokua Factory」、代表の廣瀬裕子さん。ホームウェアブランドを主宰する有元くるみさん、フードコーディネーターの根本きこさんなど、環境に優しい生活を送るうえで、廣瀬さんが参考にしたいと思う10人のエコアイデアを、紹介しています。みなさんが実践しているのは、いいものを長く使い続ける、自然に還るものを選ぶなど、心がけひとつで誰にでも、そして今すぐにもできること。環境に配慮しながら、心も豊かにしてくれる暮らしのヒントが詰まっています。

『エコプロダクツ2008』



event

企業や自治体などが、最新のエコアイテムや生活スタイルを提案する国内最大級の環境イベント「エコプロダクツ」展。10周年を迎える今回は、洞爺湖サミットで、2050年までに温室効果ガスを半減させるという長期目標が掲げられたことを受けて、「もうできる！CO₂マイナス50%のエコライフ」をテーマに、750以上の出展者が集結します。このイベントで、日本の最先端技術を目の当たりにすれば、CO₂半減も実現可能だと希望を持つはず！12月11日～13日まで東京ビッグサイトで開催。入場無料。

<http://www.eco-pro.com>

エコ生活のもと

全国のエコファミリーが教えてくれた、毎日の暮らしをちょっとエコにしてくれるアイデアをご紹介します。

その1

子どもも参加する節電

ポニョポニョさん



子ども部屋などの電気は、どうしても消し忘れが多くありませんか？我が家では、スイッチの脇にキャラクターのシールと一緒に「節電」という紙を貼り、消し忘れをなくすようにしています。季節によってシールを交換して、飽きずに続けられるようにするのもポイントです。

その3

ひざ掛けの利用

RabbitHutchさん

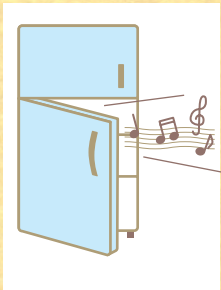


これからどんどん寒くなっていきますね。我が家では、もうひざ掛けを用意してあります。朝晩ちょっと冷えるとき、雨がしとしと降っているときにはちょうどいいですよ。子どもは夜、机に向かっているときに使っているようです。「頭寒足熱」と言いますが、上半身はさほど寒くなくても、足もただ冷えることってありますよね。そんなときはひざ掛けの出番。真冬はもちろん暖房温度を下げるためにも必需品ですが、我が家では初秋から春まで、結構長く使っています。

その2

冷蔵庫を開けている間、オルゴールを鳴らす

CODさん

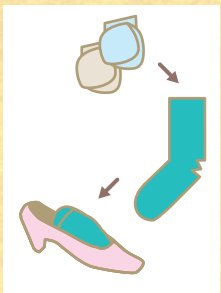


バースデーカードなどについているチップのオルゴールは、光に反応して音が鳴ります。そこで、そのオルゴールを冷蔵庫に貼れば、音楽が鳴って、空けている時間の長さが意識できます。冷蔵庫のドアを早く閉めるように心がけることができるのではないのでしょうか。

その4

いらない靴下の再利用

すむちゃんさん



我が家では、破けてしまった靴下を、まとめて一つの靴下に3～4足ぐらい入れて、靴の変形防止に使っています。一对できれば、両足用のシューズキーパーが完成です。まとめて入れる靴下は、奥さんのナイロン靴下が最高です。

イラストレーション／tattaka

注

環境省では「我が家の環境大臣事業」を通じて、環境にやさしく暮らしを心がけるエコファミリーを応援しています。エコファミリーウェブサイト <http://www.eco-family.go.jp> 今回ご紹介したアイデアは、エコファミリーから寄せられたエコライフアイデアを、一部内容を編集して掲載しています。